

NPO・草の根活動**日本ビルマ救援センター(大阪市)
～ビルマの人々とともに～**

「軍事独裁政権」「言論の自由がない国」「少数民族への攻撃」「強制労働」「強制移住」「少年兵」「HIV・AIDSの高感染率」「麻薬問題」「難民キャンプ」これらの言葉は現在ミャンマーと呼ばれている国の実態を表しています。皆さんはご存じでしたか。日本ではミャンマーという国についての報道はほとんどされていません。1991年にノーベル平和賞を受賞されたアウン・サン・スー・チーさんは現在3回目の自宅軟禁状態におかれ、約1400人の政治囚が投獄されています。タイ・ミャンマー国境の難民キャンプには15万人の難民が住み、約百万人の国内避難民が軍事政権の攻撃から逃れ、隠れ住んでいます。

日本ビルマ救援センター(BRC-J)はビルマ(ミャンマー)に偶然関わりを持った人々がビルマの人々のために何かしようと集まっている団体です。「丸いビルマ文字に惹かれて」「アジア旅行中に立ち寄って」「織物に興味があって」「少数民族に興味があって」、それぞれ会員のきっかけは異なりますが、月例ビルマ問題学習会に参加し、年2回タイ・ビルマ国境訪問を行っています。現地を訪れてビルマ難民の人々との交流を重ね、その支援活動が続けることで多くのことを学んでいます。私たちが目にする問題は数多くあり、市民レベル、草の根レベルから見るとそのハードルはとても高いです。しかし、大きな問題を目の前にしたときに最初からあきらめて何もしないのではなく、小さなことでもいいから行動を起こそうというのが私たちの理念です。私たちに何ができるか考え、多くの人に呼びかけて支援活動を行っています。難民キャンプの孤児院や女性の自立プロジェクトを支援し、中古PC、古着やめがねを難民に届けています。皆さまのご参加とご協力をお待ちしています。

連絡先：日本ビルマ救援センター事務局 代表・中尾恵子
大阪市城東区森之宮2丁目6-233

TEL/FAX：06-6967-7828

**交野市ボランティアグループ連絡会
点訳「虹の会」**

交野市ボランティアグループ連絡会 点訳「虹の会」は26名で活動しています。

設立当初は点字器を使っていた作業も1994(平成6)年頃からパソコンを導入し、現在は会の保有台数も15台を超えようとしており、常にフル稼働しています。

私たちの主な活動内容は

1. 定例会を毎週金曜日に開催、各人自宅での点訳・校正作業などを終えたものを持ち寄り、打合せ、編集、印刷、製本、勉強会などを行っています。
2. 主な点訳物は、①交野市からの依頼による配布物(交野市広報、社協だより、市議会だより、我が家の健康管理など)②大阪府教育委員会依頼の教科書、問題集など③一般書(ないぶネット登録、年間10冊程度を目標)④点字カレンダーの作成、その他プライベートサービスです。

この様な活動に対して、今まで大阪府盲人福祉協会・大阪府知事、厚生労働大臣からの表彰、また2005(平成17)年12月には、「草の根人権活動賞」をいただきました。

活動の中での課題は、①点訳能力のアップ②点訳量のアップ③点訳人員の増④点訳機器のメンテナンスなどで、全員積極的に取り組んでいます。特に、1人でも多くの人に点訳を理解して頂くために力を入れています。点訳人員を増やすことで、市の協力を得た講習会の開催や市と連絡会が共催する「ふれあい広場」の体験コーナーなどでPRに努めています。「虹の会」の活動は私たち自身の勉強の場、生涯教育だと思います。点訳・校正・編集・勉強会を通じて普段何気なく使っていた言葉の間違いに気付いた時など何か得をしたような嬉しい気分になります。

これからも会員相互の親睦を図り、正確でタイムリーな点訳を目指し、地道で実りある活動にしていきたいと思っています。

連絡先：交野市ボランティアセンター
交野市天野が原町5-5-1

TEL/FAX：072-894-3737

